



テーマ：笠岡（ローカル）を考える

「地域学」で育てたい生徒像

主権者としての自覚を持ち、自分たちが暮らす社会の課題に関心をもつ生徒

「地域の大学に進学し、地域で就職して活躍する」
「中央に出て、中央から地方に貢献する」
「大学卒業後、地域に戻り活躍する」等、
将来、地域社会に貢献したいという意志をもつ生徒

「地域学」のねらい

プログラムの中で次のことを常に意識し、社会と自らの生き方を関連づけて考え、
地域に自信と誇りを持ち、地域を担う人間を目指そう

- ①探究活動を通じて、地域社会の問題を自分の問題として捉えること
- ②地域の方から支援を受け、他者と協働しながら活動することで、地域の良さを感じる
- ③地域課題に対して、最終的に提言をすることで主権者としてのありかたを考えること

「地域学」で育てたい資質・能力 未来開拓力

生きて働く知識・技能を身につける

社会的課題に対する知識・理解

課題を発見・解決する

思考力・創造力 表現・発信力
協働する力 計画・実行力

学びを人生や社会に生かす

挑戦する力
キャリアプランニング能力
社会参画力

「地域学」の活動

地域を知る

地域社会の現状を知り、
自分の住む地域を実感として理解する

地域を創る

地域社会の課題を発見し、
解決策を提案するなど、
これから地域とどのように関わっていくか、
地域をどのように創っていくかを考える。



外部（地域）との連携

地域の人的・物的資源を活用し、目指すところを社会と共有連携しながら、
生徒に必要な能力・技能を効果的に身につけさせる

- ・笠岡市役所は教育委員会教育部が窓口となって各課と連携
- ・福山市立大学教育研究交流センターと、プレゼンテーション講習会、KJ法ワークショップで連携
- ・笠岡税務署とは、納税者の視点で地域財政を考える活動において連携